

【<ゴッツォモール>のイメージ】

- 山形県内の青果店や直売所が outlets し、サイト上で注文や商談を受け付け、調理場を離れられない料理人に県産食材を直送するサービス。
- サイトのメッセージ機能を使い、料理人が出店者と個別商談ができるのも特徴。細かな注文も受け入れている。
- パソコンやタブレット端末、スマートフォンから注文ができ、他県在住の料理人でも山形へ仕入れに出かける必要がない。また、各農家に注文する場合各々の送料が必要となるが、市場同様、出荷拠点で1つの箱にまとめて発送・配達となる為、送料コストが抑えられる。
- サイト利用は会員制で、飲食店やホテル、旅館の料理人のほか、野菜ソムリエ、パティシエ、料理教室の講師など、県産食材の魅力をPRできる人なら職種や居住地域を問わず登録が可能。

運営者:ゴッツォ山形(山形県山形市)



《運営者の声》

山形県産品を好む消費者や旅行者に対しての飲食提供をやすくするための、生産者と料理人のツール(繋がり)の拠点でありたい。

(資料提供:ゴッツォ山形)

【<LINEを活用した観光情報発信>のイメージ】

- 高島町はスマートフォン向けの無料通信アプリ「LINE」を使った情報発信を平成26年7月から開始。
- 情報発信の内容は、町出身の童話作家である浜田広介の代表作「泣いた赤おに」がモチーフとなっている町のマスコットキャラクター「たかっき」「はたっき」に特化したもので、登場するイベントの告知や会場での状況を配信している。
- これまでフェイスブックやツイッターによる町の観光情報発信は県内の他の市町村でも取り組みが見られたが、LINEによる町のマスコットキャラクターに特化した情報発信は初めて。

○公式アカウントとして、友達登録ができる。

○出演するイベントの情報をタイムラインで発信をしている。

(資料提供:高島町企画財政課)